

Dell S2422HZ/S2722DZ ビデオ会議用モニター Dell Display Manager ユーザー ガイド

モニターモデル: S2422HZ/S2722DZ
規制モデル: S2422HZt/S2722DZt



 注：注は、ご利用の製品をより良く使用いただくための重要な情報を示します。

Copyright © 2021 Dell Inc. またはその子会社。無断転用禁止。 Dell、EMC、および他の商標は、Dell Inc. またはその子会社の商標です。その他の商標は、それぞれの所有者の商標である場合があります。

2021年08月

改訂 A00

目次

概要.....	4
Quick Settings (クイック設定) ダイアログの使用法	5
基本表示機能の設定方法	7
プリセット モードをアプリケーションに適用する方法	8
Easy Arrangeでウィンドウを整理.....	9
複数ビデオ入力の管理方法.....	12
アプリケーション位置の復元	13
省エネ機能の適用方法	15
ショートカットキーの定義.....	16
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10のみ)	17
トラブルシューティング.....	18

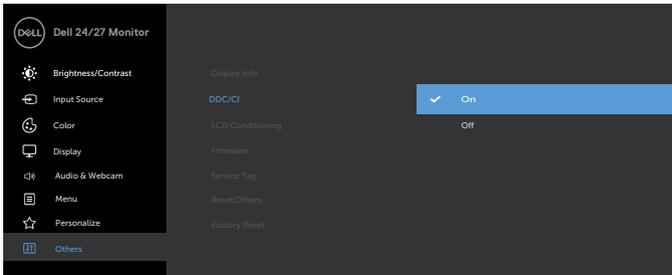


概要

Dell Display Manager は、1台または複数のモニターを管理できる Microsoft Windows アプリケーションです。表示画像、自動設定、消費電力管理、ウィンドウ構成、画像の回転、その他の機能を指定された Dell 製モニターで手動にて調整できます。Dell Display Manager はインストール後、コンピューターの起動時に自動的に実行され、通知トレイにアイコンを表示させます。通知トレイのアイコンへポインターを移動させると、コンピューターに接続されたモニターの詳細情報が表示されます。

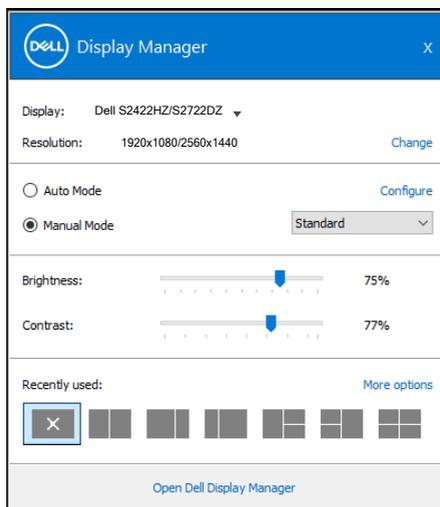


注: Dell Display Manager は DDC/CI チャンネルを使用してモニターと通信します。以下の図に示されるように、メニューで DDC/CI を有効にしてください。



Quick Settings (クイック設定) ダイアログの使用法

通知トレイにある Dell Display Manager のアイコンをクリックします。**Quick Settings (クイック設定)** ダイアログボックスが表示されます。サポートされている Dell モニターが複数台、コンピュータに接続されている場合は、メニューを使用して特定のモニターを指定できます。**Quick Settings (クイック設定)** ダイアログボックスでは、輝度、コントラスト、解像度、ウィンドウのレイアウトなどを簡単に調整できます。また、プリセットモードを自動的に切り替えたり、手動でプリセットモードを選択したりすることもできます。



また、この **Quick Settings (クイック設定)** ダイアログ ボックスは、基本機能の調整、自動モードの構成、他の機能へのアクセスを行うために使用される Dell Display Manager の詳細ユーザーインターフェイスを提供します。

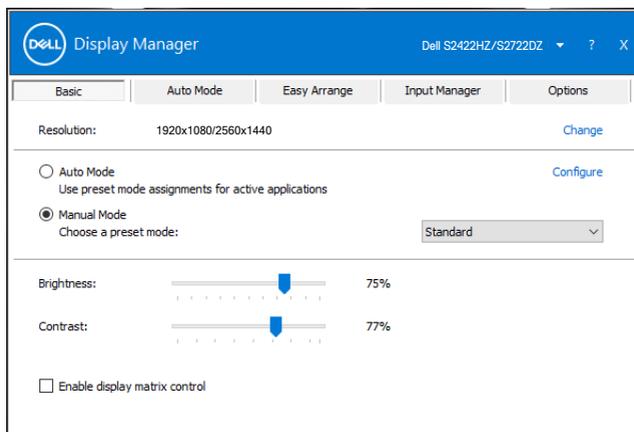


機能	役割	説明
クイックDDM アクセス	DDM UI を開くシ ョートカットキー	Ctrl+Shift+D
	複数のディスプレ イ設定で個々のデ ィスプレイを操作	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドロップダウンリストからモニターを選択しま す。コンピュータに複数台のモニターが接続さ れている場合は、選択したモニターがわかるよ うに、選択したモニター上にアイコンが1秒間 表示されます。 ・ ディスプレイのセルフテスト機能チェックを実 行します。 ・ DDM UIを操作するディスプレイのところに移 動します。 ・ Ctrl+Shift+D を押して、マウスポインターの下 にある miniUI を開きます。

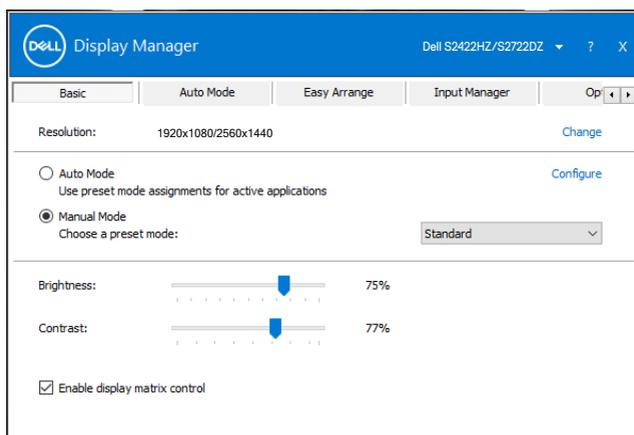


基本表示機能の設定方法

プリセット モードを手動で選択できる **Manual Mode (手動モード)** またはアクティブなアプリケーションに基づき、プリセット モードを適用する **Auto Mode (自動モード)** を選択できます。画面上のメッセージに、現在のプリセット モードが、変更されるたびに表示されます。また、選択されたモニタの **Brightness (輝度)** および **Contrast (コントラスト)** は、**Basic (基本)** タブから直接調整できます。



注: 複数台の Dell モニタが接続されている場合、輝度、コントラスト、カラー プリセット制御をすべてのモニタに適用するには、**Enable display matrix control** を選択します。



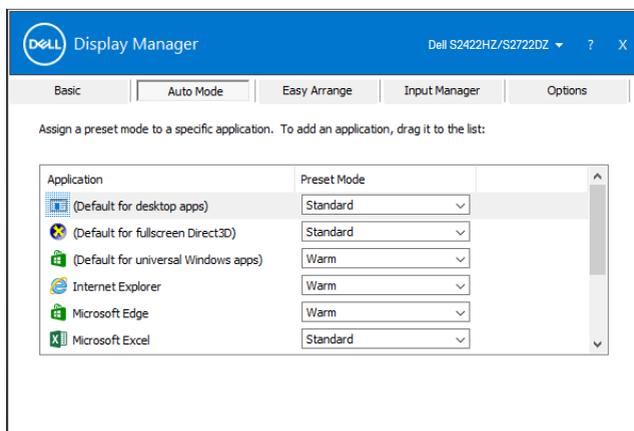
プリセット モードをアプリケーションに適用する方法

この **Auto Mode (自動モード)** タブにより、特定の **Preset Mode (プリセットモード)** を特定のアプリケーションに関連付けし、それを自動的に適用できます。ここで、**Auto Mode (自動モード)** が有効化されている場合、Dell Display Manager は、関連するアプリケーションがアクティブ化されると、自動的に対応する **Preset Mode (プリセットモード)** に切り替えます。特定のアプリケーションに割り当てられる **Preset Mode (プリセットモード)** は、各接続されるモニターで同じである場合もあれば、モニターごとに異なる場合もあります。

Dell Display Manager は多くの普及型アプリケーション用に設定済みです。Application (アプリケーション) のリストに新たなアプリケーションを追加する場合は、デスクトップ / Windows のスタートメニュー / それ以外の場所からアプリケーションをドラッグし、現在のリストに追加します。

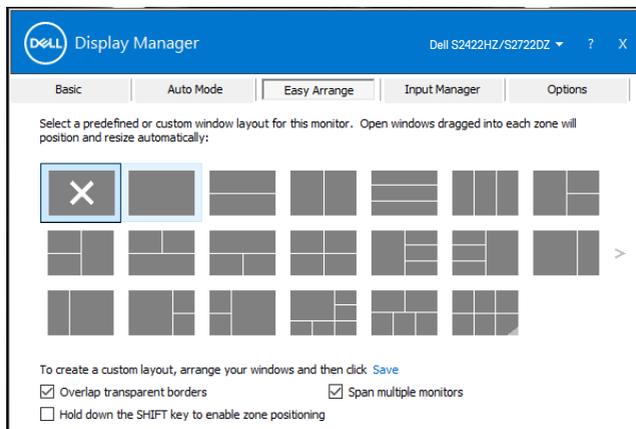
注: バッチ ファイル、スクリプト、ローダ、Zip アーカイブまたはパック ファイルなどの非実行形式ファイルに対するプリセット モードの割り当ては、サポートされません。

また、Direct3D アプリケーションを全画面モードで実行するときには必ず使用するゲーム プリセット モードを構成できます。アプリケーションがモードを使用しないようにするには、異なるプリセット モードを割り当てます。



Easy Arrangeでウィンドウを整理

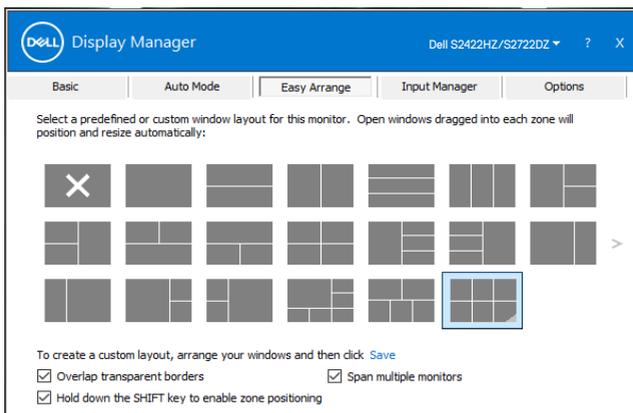
Easy Arrange (イージーアレンジ) 機能を使用して、デスクトップ上のアプリケーションウィンドウを手軽に整理できます。設定済みのレイアウトパターンから好みのものを選び、アプリケーションのウィンドウを指定されたゾーンへドラッグします。「>」を押すか、Page Up / Page Down キーを使用すれば、他のレイアウトが表示されます。カスタムのレイアウトを作成する場合は、開いているウィンドウのレイアウトを調整して、**Save (保存)** をクリックします。



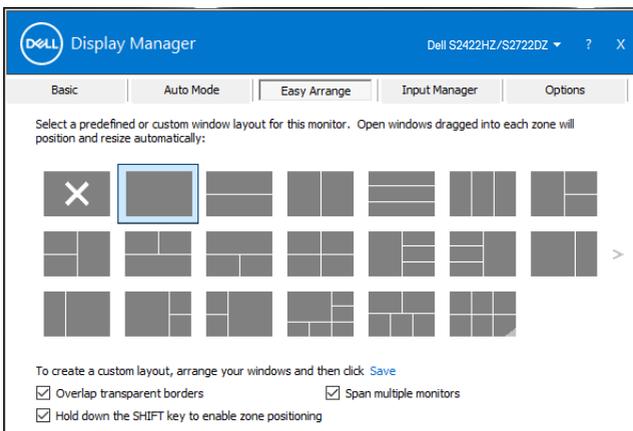
Windows 10 の場合、各仮想デスクトップに対して、異なるウィンドウレイアウトを適用できます。

Windows のスナップ機能を頻繁に使用する場合は、**Hold down the SHIFT key to enable zone positioning (Shiftキーを押し続けてゾーン的位置指定を有効にする)** を選択します。この機能を使用すれば、Windows スナップが**Easy Arrange (イージーアレンジ)** よりも優先されます。Shift キーを押し続けると、**Easy Arrange (イージーアレンジ)** の位置指定を使用できます。





複数台のモニタをアレイ形式またはマトリクス形式で使用している場合、**Easy Arrange** レイアウトをすべてのモニタ全体に1つのデスクトップとして適用できます。**Span multiple monitors (複数ディスプレイをスパン)**を選択して、この機能を有効化します。これを有効にするために、モニタを適切に整列する必要があります。



以下の表で、**Easy Arrange (イージーアレンジ)**のその他の機能を紹介します。

機能	役割	説明
強化された Easy Arrange	カスタムレイアウト	<ul style="list-style-type: none">・ 5種類のカスタマイズされたEasy Arrangeパターンを保存し、名前を付けます。・ x*yパターンを構成します。
	最も頻繁に利用 (MRU) される6つのレイアウト	Ctrl+Shift+Homeを押して、最近使用した6つのMRUレイアウトの中で切り替えます。
	オンザフライにおけるパーティションのサイズ変更	<ul style="list-style-type: none">・ Ctrl キーを押しながら現在の Easy Arrange (イージーアレンジ) レイアウトのサイズを変更して、レイアウトのサイズとセル数を調整します。・ 新しく形成したEasy ArrangeパターンはEasy Arrangeアイコンの位置に保存されます。・ Ctrl キーを押しながら変更したレイアウトアイコンをクリックすると、デフォルトのレイアウトに戻ります。
	ポートレートモードの Easy Arrange レイアウト	モニターを回転させると、ポートレートモードの Easy Arrange (イージーアレンジ) アイコンが表示されます。

 **注:** アプリケーションが、そのアプリケーションウィンドウに対して最小実効解像度を要求する場合があります。こういったアプリケーションでは、ゾーンが必要なウィンドウサイズよりも小さい場合、**Easy Arrange**ゾーンにフィットしない可能性があります。

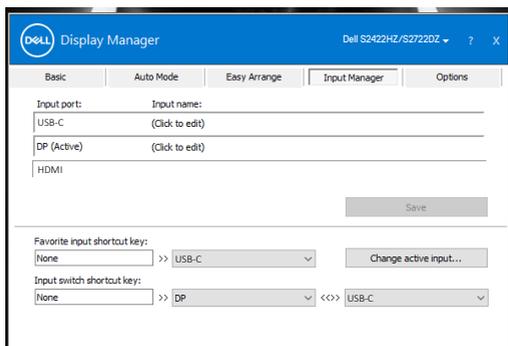


複数ビデオ入力の方法

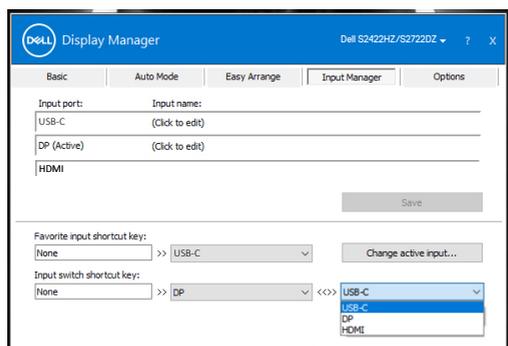
Input Manager (入力マネージャー) タブを使用すれば、お使いの Dell モニターへ接続された複数のビデオ入力を便利に管理できます。この機能を使用すれば、複数のコンピューターを操作する場合に、入力を手軽に切り替えられます。

モニターで利用できるすべてのビデオ入力ポートが表示されます。好みに応じて各入力を命名し、編集が終わったら変更内容を保存します。

お気に入りの入力に素早く切り替えるためのショートカットキーを定義したり、良く使用する 2 つの入力の間を素早く切り替えるための別のショートカットキーを定義したりすることができます。



任意の入力ソースを切り替えるためにドロップダウンリストを使用できます。

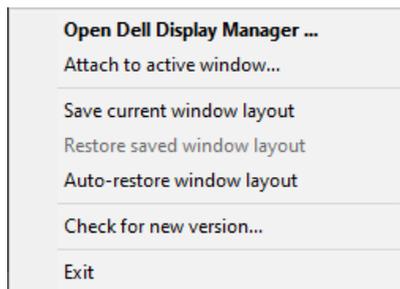


注: Dell Display Manager は、ご利用のモニターが別なコンピューターからのビデオを表示しているときでも、そのモニターと通信します。良く使用するコンピューターに Dell Display Manager をインストールし、そこから入力切替を制御できます。また、モニターに接続される他のコンピューターに Dell Display Manager をインストールできません。

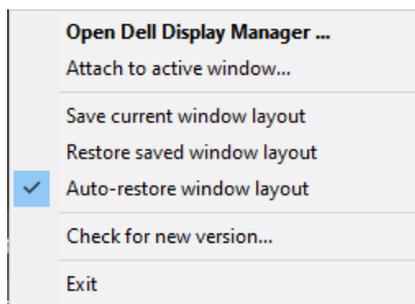


アプリケーション位置の復元

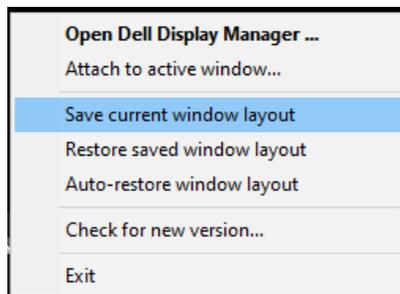
コンピューターをモニターへ再接続すると、DDM がアプリケーションのウィンドウを指定された位置へ戻します。通知トレイで DDM アイコンを右クリックすれば、この機能を素早く開けます。



Auto-restore window layout (ウィンドウレイアウトを自動復元) を選択すると、アプリケーション ウィンドウの位置が、DDM により、追跡・記憶されます。DDM は、ご利用のコンピューターをモニタに再接続するとき、アプリケーション ウィンドウを元の位置に配置します。



お気に入りのレイアウトに戻るには、まず最初に **Save current window layout (現在のウィンドウレイアウトを保存)**、次に **Restore saved window layout (保存したウィンドウレイアウトを復元)** の順に選択します。



日常の作業で様々なモデルのモニターを使用し、それぞれに別々のウィンドウレイアウトを適用できます。DDM は再接続したモニターを認識し、アプリケーションの指定された位置を再現します。

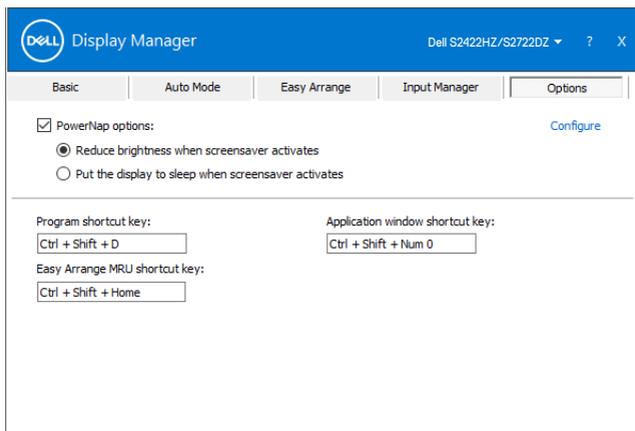
モニターのマトリクス構成でモニターを配置する場合は、配置前にウィンドウのレイアウトを保存し、新しいディスプレイがインストールされた後にレイアウトを復元できます。

注: この機能を使用する場合は、アプリケーションを終了させないでください。DDM はアプリケーションを起動することはできません。



省エネ機能の適用方法

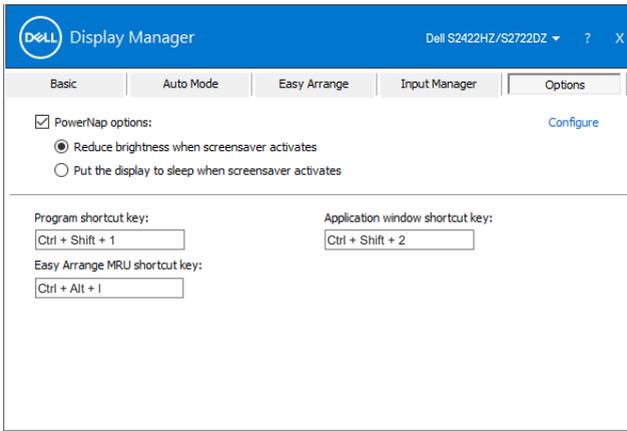
Dell モデルで **Options (オプション)** タブがサポートされる場合は、PowerNap 省エネ機能を利用できます。輝度を最小限に抑えたり、スクリーンセーバーが起動したらディスプレイをスリープ状態にすることができます。



ショートカットキーの定義

次の DDM 機能には、すばやくアクセスできるようにショートカットキーを設定できます。

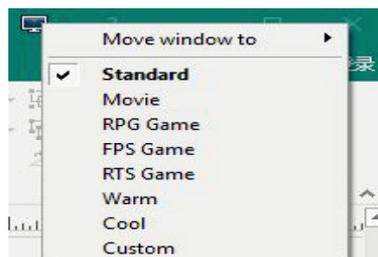
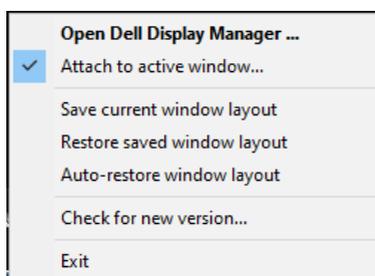
- ◆ **プログラムショートカットキー**: クイック設定ダイアログボックスを素早く開きます。
- ◆ **Easy Arrange MRUショートカットキー**: 最近使用した6種類のウィンドウレイアウトを素早く適用します。
- ◆ **アプリケーションウィンドウショートカットキー**: 自動モードと**Easy Arrange**にあるオプションのクイックメニューを開きます。



DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10のみ)

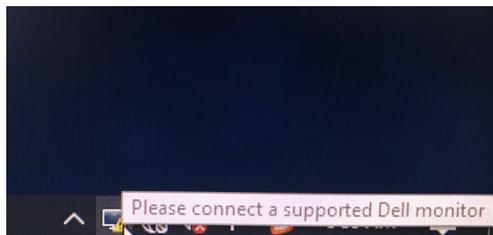
DDMアイコンを、作業中のアクティブなウィンドウに取り付けることができます。アイコンをクリックすると、以下の機能に簡単にアクセスできます。

機能	役割	説明
DDMをアクティブウィンドウに取り付ける (Windows 10のみ)	プリセットの変更、または別のパーティションへの取り付け	DDMアイコンをアクティブなウィンドウに取り付け、簡単にウィンドウの位置を切り替えたり、色のプリセットモードを変更したり、自動プリセットモードを割り当てることができます。
	ショートカットキーのトリガー	実行中のアプリウィンドウでCtrl+Shift+Insを押すことでも、取り付けられているDDMメニューがトリガーされます。
	Easy Arrange セル間でアプリウィンドウを移動	アプリウィンドウを前/次の Easy Arrange セルに送ります。
	アプリウィンドウをディスプレイ間で移動	アプリウィンドウを前/次のディスプレイに送ります。

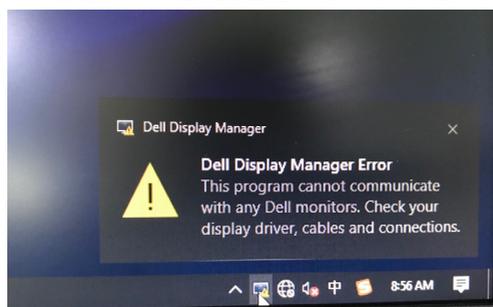


トラブルシューティング

お使いのモニターで DDM が動作しない場合は、以下のアイコンが通知トレイに表示されます。



そのアイコンをクリックすると、DDM は、詳細なエラー メッセージを表示します。



注: DDM は Dell ブランドのモニターでのみ動作します。Dell Display Manager は、他社製のモニターをサポートしません。

DDM が、サポートされる Dell モニタを検出しないおよび/または通信しない場合、トラブルシューティングを行うため、以下の措置を行ってください：

1. ビデオケーブルがモニターとコンピューターに正しく接続されているか、確認してください。コネクタは所定位置にしっかりと挿入する必要があります。
2. モニタ OSD をチェックし、DDC/CI が有効化されていることを確認してください。
3. グラフィックス カード ベンダ (Intel、AMD、NVIDIA など) から、正しく最新のディスプレイドライバを入手してください。多くの場合、ディスプレイドライバが、DDM 故障の原因になります。
4. モニターとグラフィックスポートの間に接続されているドッキングステーション、ケーブルエクステンダー、コンバーターはすべて外してください。低価格のエクステンダー、ハブ、コンバーターは DDC/CI とうまく動作せず、DDM が機能しない原因となる場合があります。ドライバーを最新バージョンにアップデートしてください。
5. コンピュータを再起動してください。



DDM は、以下のモニタでは、動作しない可能性があります：

- ・ 2013 年以前の Dell モニタ モデルおよび Dell モニタの D シリーズ。詳細は、<https://www.dell.com/support/monitors> をご覧ください。
- ・ Nvidia ベースの G-sync 技術を使用するゲーム用モニタ
- ・ 仮想およびワイヤレス ディスプレイは、DDC/CI をサポートしません
- ・ DP 1.2 モニタの一部の初期モデルは、モニタ OSD を使用して、MST/DP 1.2 を無効化することが必要となる場合があります

ご利用のコンピュータがインターネットに接続されている場合、DDM の新しいバージョンが利用可能になると、更新するようプロンプト表示されます。最新の DDM アプリケーションをダウンロード・インストールすることを推奨します。

DDM アイコンを右クリックすれば、最新の DDM バージョンを確認できます。

